



本社外観

- 本社所在地：北海道中川郡幕別町忠類協徳231番地5
- 事業概要：経営コンサルタント、生乳販売、整備工場・鉄工場、哺育センター運営等
- 常時使用する従業員：86名（グループ全体・2025年3月時点）
- 現在の売上高：43億円（グループ全体・2025年3月期）
- 法人番号：3460101006129
- Web：https://sinju.info/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
森神 寿裕

稼ぐ「へきち」大地を継ぐ

私たちは、生乳販売、鉄工・機械整備、経理代行、IT化、機械化、人的サポート、哺育センターの運営、資材販売等のトータルサポートを戦略的に提供し、地域の収益性を高め、当社自身が100億円企業へ成長することで、地域に雇用を生み、社員への賃上げを行います。「稼げる魅力的な僻地だ」という実例を作り出すことで、次世代の担い手を増やし、北海道の大地を未来へ継承していきます。

具体的には、北海道で生産された生乳・畑作物の全国販売と、アジアの宇宙ビジネス拠点として注目される北海道大樹町のスペースポートへの鉄工機械整備での参画により、魅力的な大地へと変えます。地元から都市部への若者の流出を防ぎ、やりがいのある仕事を提供して活性化を行い、地域を牽引する元気企業を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年にグループ全体売上100億達成に向け、年20%の成長を目指す。2030年以降も成長を続け、2035年に売上137億円を目指す。

課題

- ①高品質な原材料供給の安定化
 - ・地元農家や関連会社との連携
 - ・生乳検査機器の導入
- ②集送乳施設の建設と輸送手段の効率化
- ③旋盤技術、溶接技術、修理加工技術の向上
- ④専門技術の高度化
- ⑤収益の多角化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①生乳品質の維持管理
- ②生乳集荷の効率化
- ③鉄工部門の新規事業展開
- ④AI導入による労働の質的転換
- ⑤自社購入仔牛の育成・売却モデル確立

実施体制

- ①生乳品質の維持管理
 - ②生乳集荷の効率化
 - ③鉄工部門の新規事業展開
 - ④AI導入による労働の質的転換
 - AI、ロボット技術などの最先端技術を活用し、単純作業の削減と高度専門職への移行、作業の効率化や品質向上につなげる
 - ⑤自社購入仔牛の育成・売却モデルを確立
 - 子牛の購入、哺育・育成、売却を一貫しておこなう新規事業の立ち上げ
- ①～③は別紙参照

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の売上高目標と実施体制

- ①生乳品質の維持管理
生乳検査施設の新設と、農協出身者である代表の知見を活かして地元農家・関連会社と密に連携することで、北海道で生産された高品質の生産物を全国の消費基地へ供給することができる。
- ②生乳集荷の効率化
集送乳施設の建設により、生乳の安定供給の体制を構築し、輸送車両への投資により効率化をはかる。
- ③鉄工部門の新規事業展開
世界でも注目されている宇宙ビジネスの拠点が北海道大樹町に建設中であり、新規参入を狙う。単なる作業員での関わりでなく、メカニックやフィールドエンジニアとしての技術革新をおこなうために教育体制構築と施設へ投資する。

売上高目標



100億達成

